

第4回定例会を開催 ～市政全般をチェック～



第4回定例会では、補正予算や条例議案などを常任委員会で審査した後、市政運営について代表質問を行いました(2・3面)。慎重審議の結果、40議案を採決しました(4面)。

2日間にわたり、市政運営について各会派を代表して5人の議員が質問を行いました。その一部をご紹介します(詳しくは、市議会ホームページの「議会中継(録画放映)」をご覧ください)。

自由民主党千葉市議会議員団

石川 弘



救命講習の受講者数や心肺停止の傷病者に対する応急手当実施率及び救命率の状況は

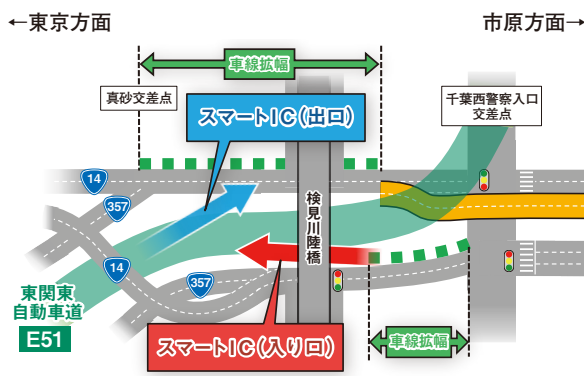
問 令和3年の救急隊平均現場到着時間は過去最長の9.4分となり、救命率の低下が懸念される。心肺停止状態の傷病者の救命には、その場に居合わせた人が、絶え間ない胸骨圧迫やAEDの使用など質の高い心肺蘇生を行うことで救命率を向上させることができるが、本市の救命講習受講者数や応急手当実施率、救命率の状況を伺う。

答 統計を取り始めた平成6年からの受講者数は約27万3千人で、本市人口の約28%相当となっている。また、令和2年の応急手当実施率は49.1%で、全国平均の58.1%を下回るが、救命率は15.8%と、全国平均の15.2%を上回っている。

(仮称)検見川・真砂スマートインターチェンジ(SIC)^{*1}の事業内容は

問 東関東自動車道の(仮称)検見川・真砂SICの整備により、商業が集積する千葉都心や工業・物流施設が集積する千葉港等の湾岸部と東京方面とのアクセス向上が期待されるが、事業内容を伺う。

答 SICは国道357号の千葉西警察入口交差点から東京側約700メートルに設置し、東京方面への入口と市原方面への出口のハーフインターチェンジとする。出入口付近の国道の交通の流れを円滑にするため、上下線とも現在の2車線を3車線化する。事業費については、本市が約15億円、NEXCO東日本が約33億円を負担する。



未来立憲民主ちば

亀井 琢磨



物価高騰に対するこれまでの対策と今後の対応は

問 円安などによる物価高への不安が市民や企業に広がっているが、本市の対応を伺う。

答 下水道使用料の減免や子どもの給食費高騰分の市費負担、影響を受けた中小企業への支援金支給等を行ってきた。今後も国の動向を注視するとともに、必要な取り組みを行う。

こども基本法の施行等を契機にこども施策の一層の充実を求めるが、本市の取り組みは

問 子どもの権利擁護や子育て支援のさらなる推進が必要だが、今後の取り組みを伺う。

答 虐待事案への的確な対応を図るとともに、こども施策推進のため、(仮称)こども基本条例制定に取り組む。また、ヤングケアラー支援の充実や子ども医療費助成事業の拡充と保護者負担軽減を検討する。

動物愛護に関する課題への取り組み促進と動物保護指導センター再整備について

問 飼い主のいない猫対策及びセンターの機能充実や再整備に向けた取り組みを伺う。

答 飼い主のいない猫の不妊去勢手術の募集拡大、センター機能充実のため獣医師の増員等を行った。再整備に向け専門的知見を基に動物行政のあり方を策定した後、基本計画を作成する。



不妊去勢手術は、「耳先カット」をします(全く苦痛はありません)。これにより手術済みの猫であることが一目でわかり、2度の手術をされるのが防げます。

常任委員会

各常任委員会では、補正予算・条例議案などを詳細に審査しました。質疑の一部をご紹介します。

委員会	所管事項
総務	危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政など
保健消防	保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院など
環境経済	市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業など
教育未来	子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習など
都市建設	まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道など

総務委員会 議案8件

千葉中央コミュニティセンターの再整備と立退料について

問 同建物再整備のため、テナントに立退料を支払い、賃貸借契約を中途解約するとのことだが、再整備の概要と立退料の総額を伺う。

答 現建物は、令和7年度から3年間休止して、地上10階から4階建てに減築し、耐震補強を含めた大規模改修工事を行う。再整備後は公用・公共利用とし、建物内にある市民利用のコミュニティセンターは再配置する。プール以外の体育施設は、千葉公園体育館に集約予定である。また、立退料の総額は算定中である。



保健消防委員会 議案8件 請願1件

桜木霊園への指定管理者制度導入の理由は

問 桜木霊園は開設が古く園内の整備も十分でない等の課題があることから、指定管理者制度の導入を見送っていたと聞いているが、今回、導入することとした理由を伺う。

答 先に指定管理者制度を導入した平和公園では、無料の園内循環バスが運行されるなど、サービスの向上が図られたことから、桜木霊園においても固有の課題に取り組みつつ、墓地利用者への一層のサービス向上に繋がることを期待して、制度を導入することとした。



令和4年第4回定例会 主な会議日程

11/29 [火]	本会議(開会)	12/5 [月]	常任委員会(2・3面)	12/ 9 [金] ~15 [木]	本会議(一般質問)
12/ 2 [金]	本会議(議案質疑)	12/7 [水]・8 [木]	本会議(代表質問)(2・3面)	12/16 [金]	本会議(委員長報告、討論、採決)(4面)

公明党千葉市議会議員団

村尾 伊佐夫



コロナ禍や物価高騰における中小企業への支援について

問 厳しい経営環境にある中小企業への支援施策の評価と課題を踏まえた取り組みを伺う。

答 国支援金の対象外の事業者へ市独自の支援金を給付するなど、事業継続の下支えに一定の効果があったと考えるが、支援内容が対象事業者の隅々まで伝わっていないことが課題であり、更なる周知を図っていく。また、経営環境の変化に対応するため、事業者が行う事業変革などの新たな取り組みへの支援が重要であると考えている。

子ども医療費助成制度について

問 制度の基本的な考え方と、保険調剤の保護者負担に関する今後の方針を伺う。

答 本制度は、子どもの保健の向上等を目的に、制度の安定的な継続や負担の公平性等から、必要最低限の保護者負担を設定した上で、所得制限を設けず実施している。令和2年8月から保険調剤も負担の対象としたが、本制度の安定的な運営に必要な財源確保に一定のめどが立ったこと等から、負担の見直しを早期に検討していく。



千葉市議会自由民主党・無所属の会

櫻井 崇



都市計画決定以降、長期間事業化されていない土地区画整理未施行地区に対する考え方は

問 区画整理の中には、昭和30年代後半に決定したものがあり、事業認可までかなり年月を要しているが、未施行地区に対する考え方を伺う。

答 社会情勢や未施行地区内及びその周辺の生活環境等の変化から、整備の在り方の見直しが必要であるため、現況調査や課題整理を進め、区画整理に代わる整備手法や、区域の見直し等、未施行地区の状況に応じた対応を検討していく。

保育所等の一時預かり事業の課題や今後の取り組みは

問 保護者の育児疲れ等による負担軽減などのために実施している一時預かり(不定期利用)の現状と課題、今後の取り組みを伺う。

答 昨年度の利用者は延べ1万903人、利用を断った人数は2,117人である。実施園の拡充に努めているが、保育士確保の面から休止する園もある。このため、給与改善事業の実施や国費の増額を要望する等、事業者への支援に努めていく。



日本共産党千葉市議会議員団

盛田 真弓



子ども医療費の薬局窓口負担は直ちにゼロにすべき

問 子ども医療費無料化は、国が制度化するのが当然だが、現在は自治体ごとの取り組みであり、薬局での窓口負担は、若い世代が本市へ住むことを敬遠する要因ともなる。窓口負担は直ちにゼロにすべきではないか。

答 薬局での保険調剤に係る保護者負担の見直しは、制度の持続可能性や財源等を含め、今後総合的に検討していく。

高齢者の移動手段の確保のため、デマンド型交通^{**2}の導入地域のさらなる拡大を

問 高齢化の進展によりデマンド型交通の広範囲で早期の導入が求められている。デマンド型交通導入地域をさらに拡大する検討を始めるよう求めるがどうか。

答 支え合い交通^{**3}としてのデマンド型交通の導入を進めており、緑区高津戸地域での年度内の社会実験開始を目指し協議している。今後、そこで得られた知見を生かし他の地域へ展開したい。



用語解説

- ※1 SIC 自動車料金収受システム(ETC)搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のこと
- ※2 デマンド型交通 予約があった場合に決められたルートを実行する等、事前予約により利用者の求めに応じて運行する、路線やダイヤの自由度や柔軟性が高い公共交通
- ※3 支え合い交通 地域が主体となり、地域の移動実態やニーズに合わせて、行政や交通事業者等と協力し運行する地域の暮らしを支える交通
- ※4 ナラ枯れ カシノナガクイムシが産卵のためナラやクヌギ等の幹に入り込む際、虫に付着していたナラ菌により通水障害が起こり、葉などが枯れる樹木の伝染病

会派等

- 議員定数50人(令和5年1月11日現在)
- ◆自由民主党千葉市議会議員団13人
- ◆公明党千葉市議会議員団8人
- ◆日本共産党千葉市議会議員団6人
- ◆未来立憲民主ちば11人
- ◆千葉市議会自由民主党・無所属の会6人
- ◆市民ネットワーク3人
- ◆無所属3人